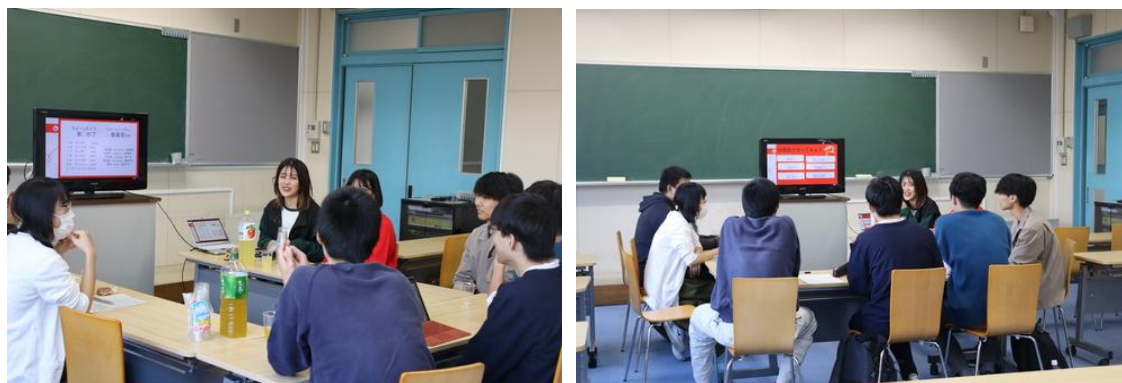


高専で中国文化をテーマとした交流会を開催しました

2023年10月25日(水曜)、高専で中国文化をテーマとした交流会を開催しました。本学の中国人留学生が、高専生に中国と日本の文化の違いなどについて紹介しました。また、当日は中国人留学生と高専生との橋渡し役として、本学中国学科の学部生も参加しました。



まずは、中国語で簡単な自己紹介ができるよう、留学生が中国語の発音での参加者の名前を教え、基本的な自己紹介フレーズと組み合わせたりしながら、高専生にレクチャーしました。続いて、中国語クイズを実施しました。身近な単語を題材に「可口可乐(コカ・コーラ)」のように発音(イントネーション)に由来する当て字で表記される単語なのか、あるいは「热狗(ホットドック)」のように、漢字の意味に基づいて形成された単語なのかを推理するクイズをしました。楽しみながら学ぶことで、中国語の特徴や言葉の由来について理解を深めました。



その後、中国の文化などについて留学生、学部生から高専生へ紹介しました。留学生からは、中国におけるスマートフォン事情や電気自動車の高い普及率、押印文化がないこと、キャッシュレス決済が主流であることなどを伝えました。また、実際に留学生が日本に来て戸惑った経験についてもエピソードを交えて語られ、参加した高専生たちは驚きの声を上げていました。日本と中国との文化や生活様式の違いについて理解を深める機会と

なりました。



また、学部生からは台湾留学での経験をもとに、台湾と中国本土との中国語の発音の違いや、台湾での留学生活での苦労や楽しかったことなどについて、紹介がありました。

さらに、中国の食文化についても話題が広がりました。例えば、北部の方は気候が寒いので辛い料理を好んで食べるが南部の方はあまり食べないこと、四川料理は本土の中国人も食べられないくらい辛いこと、食文化の歴史や中国の家庭料理や珍グルメ、またオススメの神戸の中華屋さんなどに触れ、楽しく話してくれました。



交流会の最後には、留学生から中国の女の子がよくする石を使ったゲームを教えてもらい、全員で挑戦しました。これが思った以上に難しく、最後まで成功した学生はいませんでした。

交流会終了後、高専生からは「とても楽しかった」「中国語や留学に興味を持ちました」などの声が寄せられ、有意義な交流の機会となったことがうかがえました。